

感謝・陳謝・挨拶表現の差異について

—日本と中国の言語文化を考える—

林伸一・井内俊美・林宇萍

1. はじめに

日本語の感謝表現「ありがとう」や陳謝表現「ごめん」「ごめんなさい」「すまん」「すみません」などは、家庭内で家族に対しても用いられるが、中国語の場合は、ほとんど家庭内で定型的な感謝表現や陳謝表現が用いられないと聞く。また、「おはよう」のような朝の挨拶も日本の家庭では用いられるが、中国・台湾の家庭ではあまり用いないと言われる。

「こんにちは」「こんばんは」などは、日本では家族に対しては用いないが、「おやすみなさい」「おやすみ」のような就寝時の挨拶は、家庭内で行われている。その点、中国・台湾の家庭ではどうであろうか。また、従来「お疲れ様でした」のような別れの挨拶とされてきたものが、日本では、「おつかれ」が出会いの挨拶として「おはよう」の代わりに用いられたりしている。それが若者だけでなく、社会人、年配の人々の間でも、その現象が見られるのであろうか。

日本の学校では「さようなら」と挨拶するように教えているが、果たして日常的な場面での挨拶として、どの程度用いられているのであろうか。中国・台湾で“再见”の使用実態は、どうであろうか。以下、日本語の表現は「」内に示し、中国語の表現は“”内に示す。

このような日本語の感謝表現・陳謝表現・挨拶表現を再考するために、日本人と中国人・台湾人を対象に質問紙調査を実施した。同じ高コンテクスト文化圏にあると言われる日本と中国・台湾の言語文化の運用面での差異について、調査結果を分析し、検討したい。

特に感謝表現「ありがとう」や陳謝表現「ごめんなさい」を家庭内(ウチ)で言うかどうか、および出会いの挨拶「おはよう」と「おつかれ」の関係、就寝時の「おやすみ」、別れの「さようなら」と「おつかれ」の関係などに焦点を当てて分析し、検討したい。

また、日本の挨拶表現は、「おはよう」「こんにちは」「こんばんは」などと公式化、様式化されて使用されている。また、子供だけでなく、社会人になっても挨拶教育を受けている。たとえば、新入社員教育は挨拶教育から始まると言っても過言ではない。挨拶できない社会人は、日本では一人前として認められず、評価されない。社会人に対するマナー教育の大きな柱の一つとして挨拶教育が位置付けられている。

一方、中国では、公的場面(学校・職場)と私的場面(家庭内)により、挨拶の仕方や表現が異なると言われる。中国語の挨拶表現には多様性があり、挨拶教育はあくまでも子供の躾と考えられており、家庭内や小学校低学年の生徒に対してだけ行なわれているが、大人に対してはサービス業以外、ほとんど行われていない。このような日本と中国で、挨拶表現とコミュニケーションの生活・文化的背景が異なる点を明らかにしたい。

2. 先行研究

曲・林(1999)は、日本に滞在している中国人 86 名と日本人 604 名に質問紙調査を行ない、「日本式の挨拶表現は、決まりきった公式化、簡略化、様式化の特徴があり、中国式の挨拶表現は、具体的な個人情報をめぐってやりとりするという特徴がある」としている。

曲・林(1999)の調査は、「おはよう」「こんにちは」などの対外的な出会いの挨拶に重点があり、「目礼」「黙礼」などの非言語の挨拶については親疎による差異などを明らかにしている。しかし、「おつかれさま」と「さようなら」などの別れの挨拶とコミュニケーション活動には、あまり踏み込んでいない。

また曲・林(1999)は、家族内(ウチ)の感謝表現「ありがとう」や陳謝表現「ごめんなさい」については、調査していない。

曲(2009a)はテレビドラマの談話分析を通して、日本語と中国語の対照研究を行なっている。その中には、家族内(ウチ)の大人と子どもの挨拶も含まれ、中国では相手の呼称や名前を呼ぶこと自体も挨拶またはその一部と見なされていることを示している。

村山(1995)によると日本人は“礼讓民族”と言われ、習慣的に相手に感謝・陳謝の言葉を口にする。感謝の「ありがとう」や陳謝の「すみません」を多用し、特に「すみません」は陳謝以外にも依頼や不満表明の前置きの機能もあり、中国語の“对不起”に比べて使用範囲が広く、使用頻度も高いとされている。

一方、中国人は感謝の“谢谢”や陳謝の“对不起”の使用頻度は低いとされている。また、気持ちの度合いや状況によって使い分けられていて、使用する場合には、その言葉の重みを感じると言われている。(村山 1995 参照)

山岡ら(2010)は、配慮表現の中に「謝罪表現」を位置づけ、その類型を次の表 1 のように 4 区分している。中国語・英語・日本語の謝罪表現の類型をまとめて以下に示す。

表 1. 中国語・英語・日本語の謝罪表現の類型

＜遂行＞系 (直接型)	道歉, 賠罪, 賠礼, 谢罪, 请罪 I apologize to you. 謝る、謝罪する、詫びる、陳謝する
＜命令＞系 (許しを求める型)	请原谅, 原谅我 Please forgive me. Please excuse my behavior. ごめんなさい、お許しください、堪忍して、あしからず
＜描写＞系 (過ちを認める型)	对不起, 对不住, 我不好, 我不对, 我错了, 是我的错, 怪我, 怨我, 添麻烦了 It's my fault. すみません、私が悪い、迷惑をかけた、失礼しました
＜表出＞系 (心情を告白する型)	抱歉, 不好意思 I'm sorry. 申し訳ない、恐縮だ、遺憾だ

表 1 のように 4 区分した中に中国語・英語・日本語の謝罪表現のバリエーションが示されている。日本語の謝罪表現の＜命令＞系の中には「ごめん」「許して」「堪忍」などの短縮形があり、

<描写>系にも「すまん」「失礼」などの短縮形や「すいません」などの音変化したものなどのバリエーションが多様に存在する。地域方言や階層方言（集団語）も含めると多様な謝罪表現が存在することになる。本稿では、「陳謝表現」を上位語（上位概念）として、その具体的な下位語として、「ごめん」「ごめんなさい」「すまん」「すみません」などを位置づけ、後に別添資料1として示す質問紙を作成した。

山岡・李(2007)は、日中対照研究を行ない、「謝罪表現の類型化に関する限り、その表現法はほとんど共通している」としている。表1の各系の使い分けについては、「日本語ではどの系の内部にも待遇上の階位（すまん→すいません→すみません）があるため、待遇の程度は決定的な要因にはなりえないが、定型句三者に限って言えば、各系のあいだに『ごめんなさい→すみません→申し訳ございません』のような階位が見られる。中国語では階位の特徴が日本語ほど顕著ではなかった」としている。

速司(2004)は、「おはよう」を時間意識の「おはよう」、儀礼的な「おはよう」、ウチ意識（仲間意識）の「おはよう」、はじまり意識の「おはよう」と区分している。速司(2004)は、コミュニケーションとしての「おはよう」について説明図を作成して示しているが、その内容を整理してみると次の表2のようになる。

表2. コミュニケーションの「おはよう」の4区分

はじまり意識の「おはよう」	一日のスタートの時点での「はじまり意識」として用いられる
時間帯意識の「おはよう」	時間意識と（仕事など）「頑張る」の意を含んで発せられる
ウチ意識の「おはよう」	芸能人など仲間同士でウチ意識を確認する機能を含んでいる
儀礼的な「おはよう」	家庭内の「おはよう」など習慣化し、儀礼化したあいさつ

表2では、4区分されているが、それぞれ重なり合う部分もあり、相補的な区分というわけではない。家庭内の「おはよう」に着目して習慣化・儀礼化している点を指摘している。

3. 研究目的

感謝・陳謝・挨拶表現の使用頻度を公的場面（学校、職場）と私的場面（家庭内）に分けて、設問ごとに調査結果を集計して分析し、日本と中国・台湾との言語文化的側面の差異とコミュニケーションの関係を検討する。

4. 質問紙調査

本研究では、2015年7月1日～2015年9月30日にかけて、日本人社会人595名（男性237名、女性358名）および日本人学生657名（男性276名・女性381名）、中国在住の中国人学生275名（男性88名・女性187名）、日本滞在中の中国人48名（主として留学生）・台湾人留学生21名の計87名（男性23名・女性64名）を対象に質問紙調査を行った。

日本では、山口大学を中心に日本人学生657名、日本人社会人595名および日本滞在中の中国人・台湾人87名に対して、日本語版質問紙（別添資料1）を用いて調査した。（注1）

中国では、三つの大学を中心に中国人学生275名に対して中国語版質問紙（別添資料2）を用いて調査した。三つの大学ごとの回答者の内訳は、湖北省の華中農業大学を中心に159名（男性60

名、女性 99 名)、福建省の厦門大学を中心に 69 名 (男子 19 名、女子 50 名) および広東省の広東培正学院を中心に 47 名 (男子 9 名、女子 38 名) である。(注 2)

質問紙の日本語版と中国語版を作成するにあたって、以下の感謝・陳謝・挨拶表現の日本語と中国語の対照表を作成し、質問を 10 項目準備した。質問紙の内容は、別添資料 1、2 参照。

表 3. 感謝・陳謝・挨拶表現の日本語と中国語の対照表

	日本語	中国語
感謝表現	ありがとう	谢谢
陳謝表現	ごめん、ごめんなさい、すまん、すみません	对不起、不好意思、抱歉、真对不起
挨拶表現 1	おはよう (ございます)	早、早上好
挨拶表現 2	こんにちは	你好
挨拶表現 3	こんばんは	晚上好
挨拶表現 4	おやすみなさい	晚安
挨拶表現 5	おつかれ (様でした)	辛苦了
挨拶表現 6	さようなら	再见

各質問に、a. よくある (经常说) b. ときどきある (有时说) c. たまにある (很少说) d. あまりない (几乎不说) e. ぜんぜんない (完全不说) の選択項目を付し、使用頻度を五指択一で回答する五件法を用いた。国籍・出身地・性別・年齢・学生か社会人かの区別を記してもらった。

5. 結果の分析

質問 10 項目に対する回答をそれぞれ集計し、表と横棒グラフで示し、分析を加えた。

集計の際には、「a. よくある (经常说)」と「b. ときどきある (有时说)」を合計して「ある系」とし、「d. あまりない (几乎不说)」と「e. ぜんぜんない (完全不说)」を合計して「ない系」として対比的に検討するために縦棒グラフで示すこととした。縦棒グラフでは「c. たまにある (很少说)」は中間値として計算から除外した。

以下、中国在住の中国人学生を「中国人学生」として示し、日本に滞在している中国人・台湾人 (主として留学生として) を「中国人・台湾人」示すこととする。

設問 1. あなたは、家庭内で「ありがとう」というような感謝の言葉を言うことがありますか?
(您在家里对家人说不说像“谢谢”等表示感谢的语言?)

表 4. 家庭内で「ありがとう」というような感謝の言葉

設問 1	よくある	ときどき	ある系	たまに	あまり	ぜんぜん	ない系
日本人全体	59.27	24.68	83.95	9.5	4.55	2.00	6.55
日本人社会人	59.66	26.22	85.88	8.07	4.54	1.51	6.05
日本人学生	58.9	23.29	82.19	10.81	4.57	2.44	7.01
中国人学生	12.73	27.27	40.00	24.00	21.82	14.18	36.00
中国人・台湾人	17.24	16.09	33.33	24.14	25.29	17.24	42.53

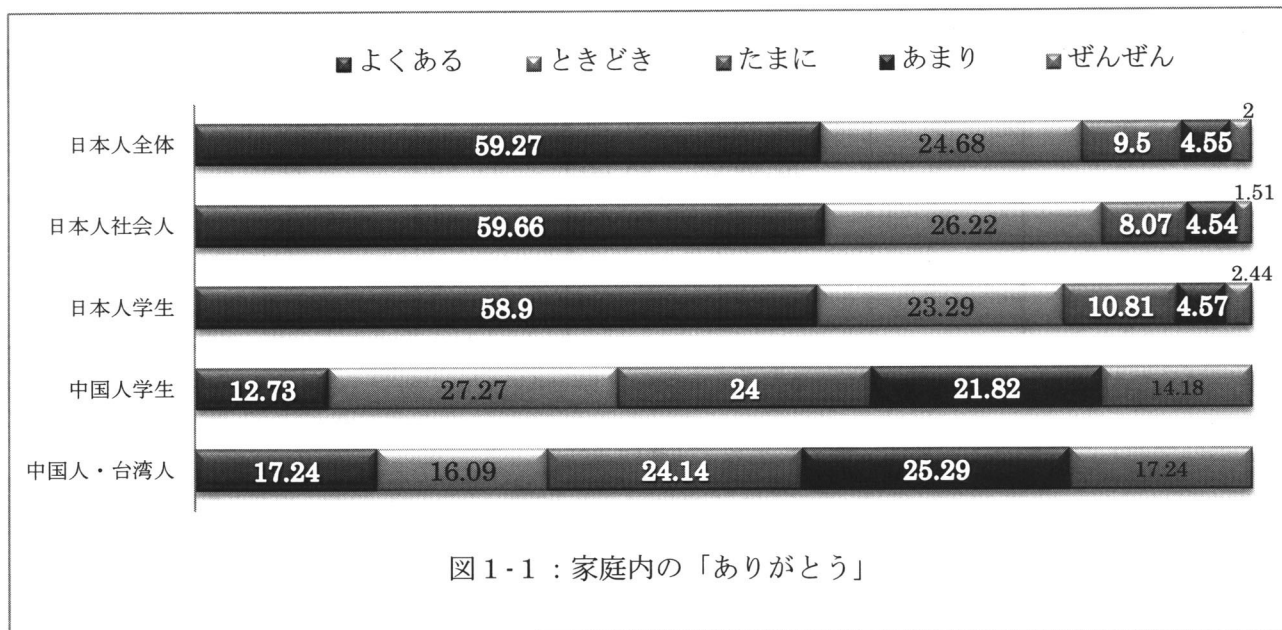


図 1-1 に示したように家庭内の「ありがとう」は、日本人は社会人も学生も、「よくある」が 6 割程度で「ときどき」が 2 割台、「たまに」が 1 割前後の頻度となっている。それに対して、中国人学生も中国人・台湾人も「よくある」が 1 割台で「ときどき」が 2 割前後、「たまに」が 2 割台となっている。次に「ある系」と「ない系」に二分して縦棒グラフ(図 1-2)に示す。

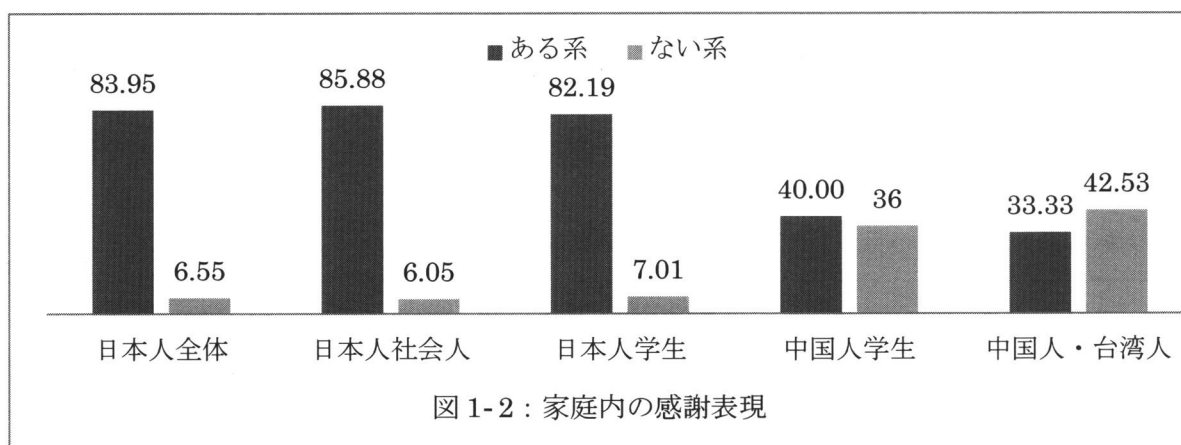


図 1-2 に示したように家庭内の「ありがとう」というような感謝の言葉に関しては、日本人は社会人も学生も「ある系」が 8 割強であり、中国人学生は 4 割、中国人・台湾人は 3 割強であった。特に中国人・台湾人の「ない系」が 4 割強で、「ある系」を上回っている。

設問 2. あなたは、家族に対して「ごめん」「ごめんなさい」「すまん」「すみません」というような陳謝の言葉を言うことがありますか？(您在家里对家人说不说像“对不起”、“不好意思”、“抱歉”、“真对不起”等表示道歉的语言?)

表5. 家族に対しての「ごめん」「ごめんなさい」「すまん」「すみません」

設問2	よくある	ときどき	ある系	たまに	あまり	ぜんぜん	ない系
日本人全体	51.92	28.59	80.51	12.54	5.51	1.44	6.95
日本人社会人	49.92	30.08	80.00	13.28	5.21	1.51	6.72
日本人学生	53.73	27.25	80.98	11.87	5.78	1.37	7.15
中国人学生	5.09	23.64	28.73	26.91	32.00	12.36	44.36
中国人・台湾人	13.79	8.05	21.84	28.74	32.18	17.24	49.42

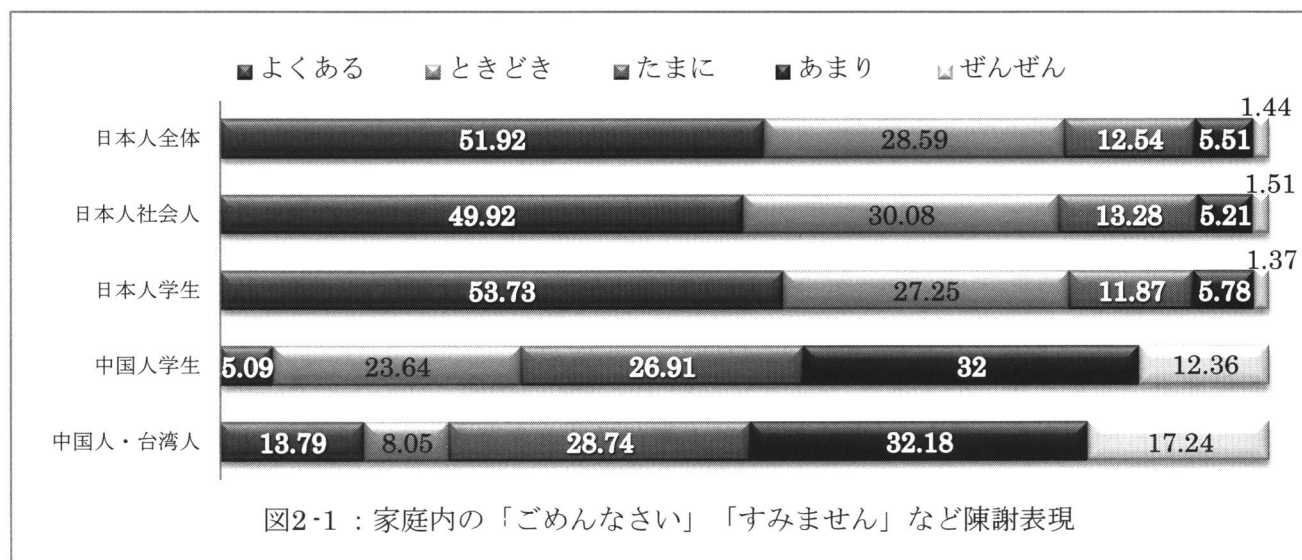
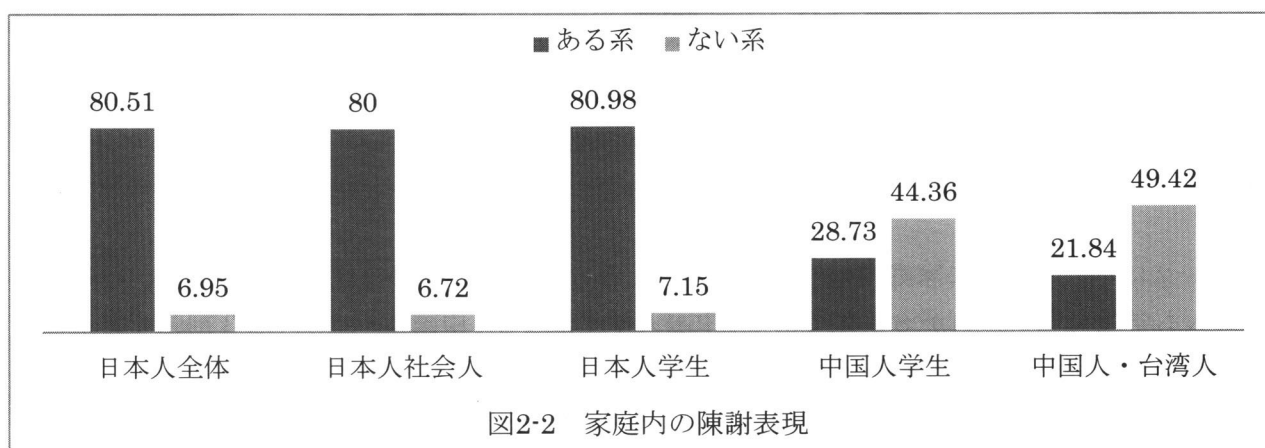


図2-1に示したように家庭内の「ごめんなさい」「すみません」など陳謝表現については、日本人の社会人・学生の「よくある」の比率が約5割であるのに対して、中国人学生と中国人・台湾人1割前後で、大きな開きがある。

次に「ある系」と「ない系」に二分したグラフを図2-2に示す。



以上、家庭内の陳謝と感謝表現の使用頻度の「ある系」をみると、日本人は学生、社会人ともに8割以上の使用頻度を示しているのに対して、中国人学生および中国人・台湾人は、2割台に留まっている。

日本人が家族に対して陳謝・感謝表現を多く用いているのは、「親しき中にも礼儀あり」という価値観があり、そうすることで家庭内の和やかな雰囲気が維持できると考えているためであろう。一方、中国人は、家庭内で陳謝・感謝表現を使用するとよそよそしく、他人行儀になると考えている。村山（1995）の定義によると中国語の“谢谢”は「他人が自分のために特に何かしてくれた時に表明する感謝の意思表示」（傍点筆者）となる。家族内で使用すると他人行儀で「仰々しい感じがする」とのことである。

設問 3. あなたは、家族に対して「おはよう（ございます）」と朝のあいさつをすることがありますか？（您在家里对家人说不说像“早”、“早上好”等早晨的问候语？）

表6. 家族に対しての「おはよう（ございます）」

設問 3	よくある	ときどき	ある系	たまに	あまり	ぜんぜん	ない系
日本人全体	67.33	14.62	81.95	8.79	5.59	3.67	9.26
日本人社会人	70.76	13.61	84.37	7.23	5.71	2.69	8.40
日本人学生	64.23	15.53	79.76	10.20	5.48	4.57	10.05
中国人学生	10.55	14.18	24.73	23.27	33.82	18.18	52.00
中国人・台湾人	9.20	11.49	20.69	10.34	34.48	34.48	68.96

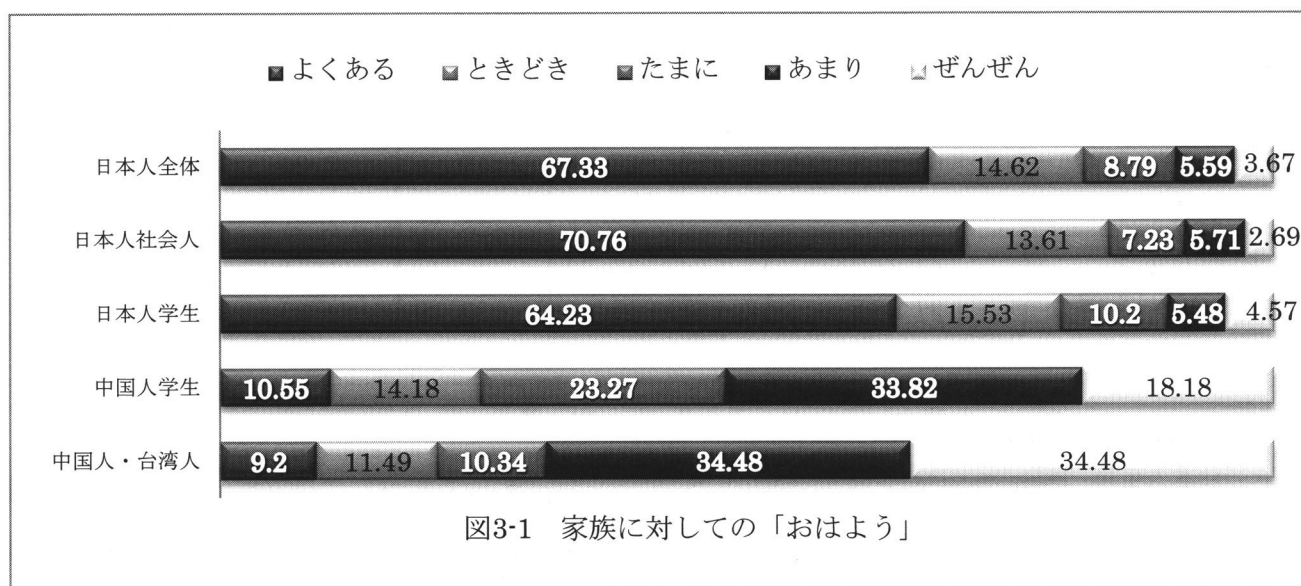


図 3-1 に示したように家族に対する「おはよう」と挨拶する頻度として「よくある」が日本人の学生、社会人が6割から7割の比率であるのに対して、中国人学生および中国人・台湾人は、1割前後となっている。

次に「ある系」と「ない系」に二分したグラフを図 3-2 に示す。

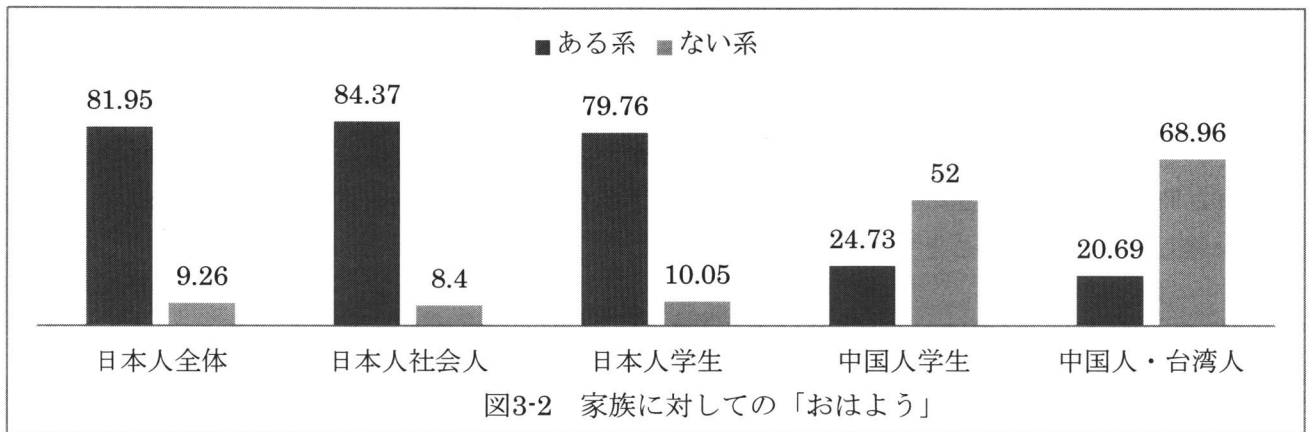


図 3-2 に示したように家族に対しての「おはよう」は、日本人は学生、社会人ともに「ある系」が 8 割前後の使用頻度になっているのに対し、中国人学生および中国人・台湾人の使用頻度は、2 割台に留まっている。

設問 6. あなたは、家族に対して「おやすみなさい」と寝る前にあいさつをすることがありますか？（您在家里对家人说不说像“晚安”等就寝前的问候语？）

表 7. 家族に対しての「おやすみなさい」

設問 6	よくある	ときどき	ある系	たまに	あまり	ぜんぜん	ない系
日本人全体	61.9	15.97	77.87	10.78	6.47	4.87	11.34
日本人社会人	62.18	13.61	75.79	10.59	8.24	5.38	13.62
日本人学生	61.64	18.11	79.75	10.96	4.87	4.41	9.28
中国人学生	23.27	19.27	42.54	15.27	27.27	14.91	42.18
中国人・台湾人	27.59	17.24	44.83	13.79	18.39	22.99	41.38

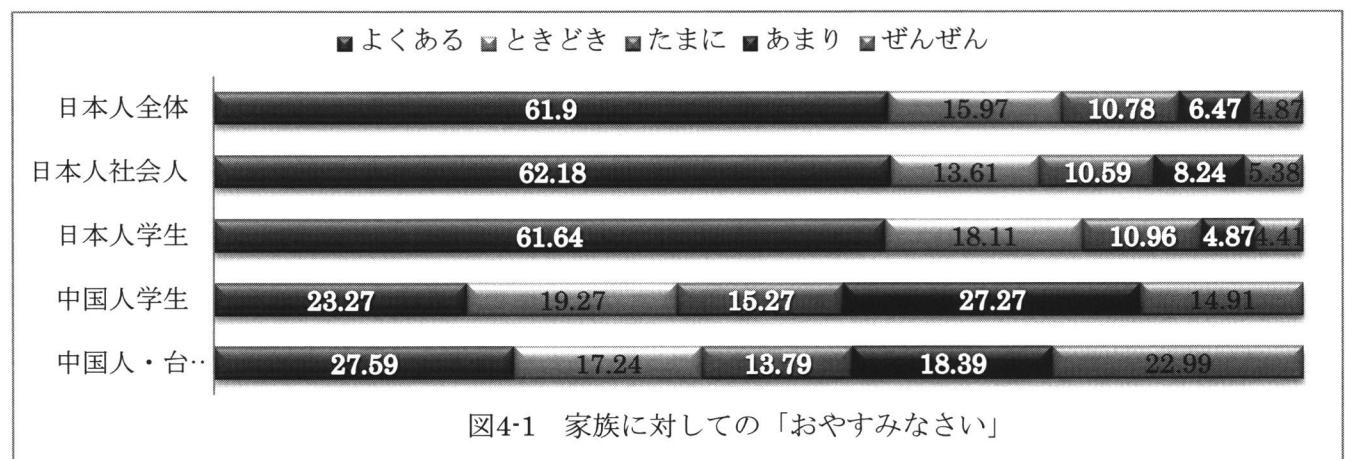


図 4-1 に示したように家族に対しての「おやすみなさい」については、日本人は学生、社会人ともに「よくある」が 6 割以上の使用頻度になっているのに対して、中国人学生および中国人・台湾人の使用頻度は、2 割台に留まっている。「ときどき」と「たまに」に関しては、各群ともに 1 割台

となっている。

次に「ある系」と「ない系」に二分したグラフを図4-2に示す。

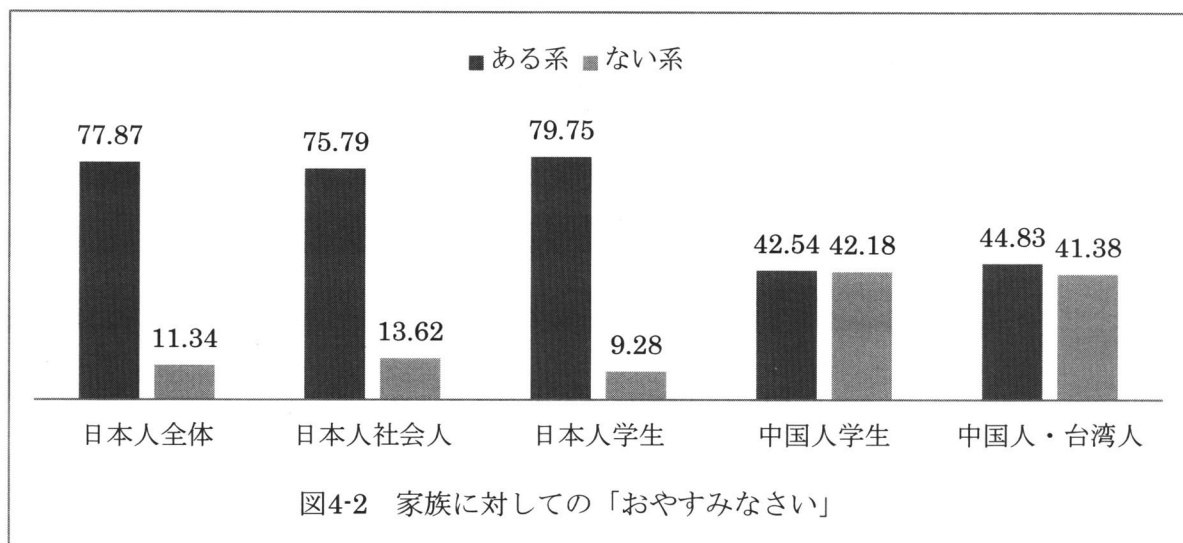


図4-2に示したように家族に対しての「おやすみなさい」の使用頻度については、日本人は学生、社会人ともに「ある系」が7割台であるのに対して、中国人学生および中国人・台湾人は、4割台に留まっている。両者の使用頻度の差は、約30ポイントの開きがある。

中国人学生および中国人・台湾人間の使用頻度の差異はほとんど認められない。

以上、家族内での「おはよう」「早／早上好」「おやすみ」「晚安」の使用頻度の「よくある」「ときどきある」を合計し、日本人学生と中国人学生の差異を対比的にまとめてみる。

日本人が家庭内の「おはよう」を8割程度、「おやすみなさい」を7割以上使用しているのに対して、中国人学生および中国人・台湾人の使用頻度は、「早／早上好」が2割程度、「晚安」が4割程度に留まっている。(図3-2および図4-2参照)

日本人の生活習慣となっている起床と就寝時の挨拶は、一日の始まりと終わりを家族に告げる機能を持っているのに対して、中国人には「おはよう」「早」「早上好」は家庭内(ウチ)ではなく、他人(ソト)に対しての挨拶表現とされているため2割程度に留まっているのであろう。

設問4. あなたは、家族に対して「こんにちは」と昼間あいさつをすることがありますか？

(您在家里对家人说不说像“你好”等白天的问候语?)

表8. 家族に対しての「こんにちは」

設問4	よくある	ときどき	ある系	たまに	あまり	ぜんぜん	ない系
日本人全体	6.23	3.59	9.82	4.79	26.12	59.27	85.39
日本人社会人	6.55	3.53	10.08	6.22	29.92	53.78	83.70
日本人学生	5.94	3.65	9.59	3.5	22.68	64.23	86.91
中国人学生	2.55	3.64	6.19	23.64	39.27	30.91	70.18
中国人・台湾人	2.30	8.05	10.35	8.05	34.48	47.13	81.61

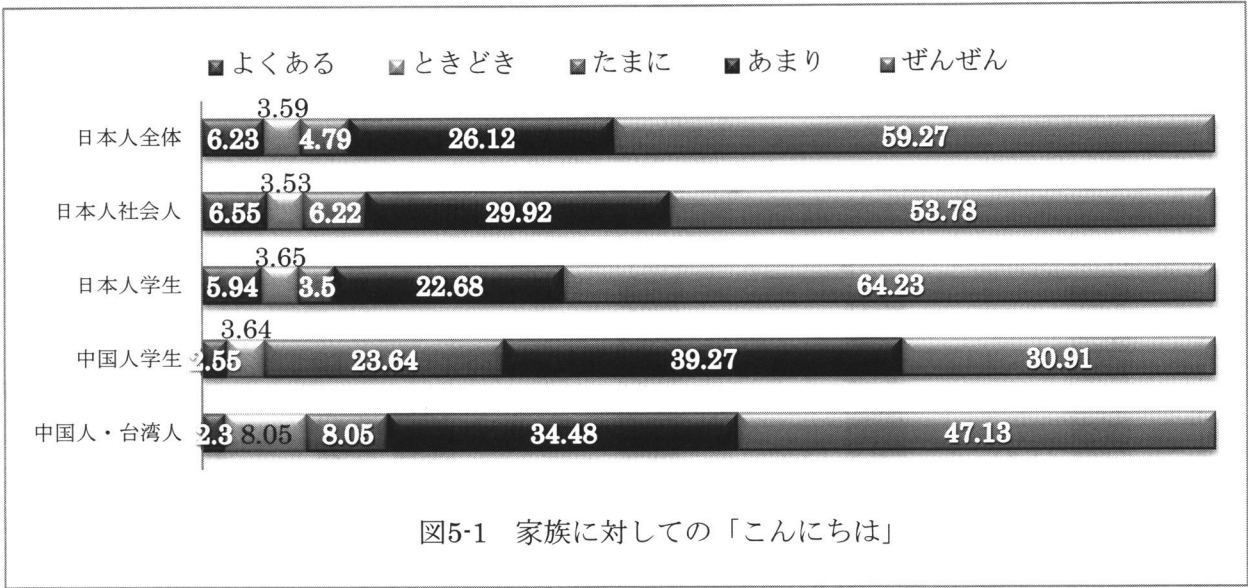


図 5-1 に示したように、家族に対して「こんにちは」と挨拶することは、どの群においても「あまりない」と「ぜんぜんない」が圧倒的に多い点が共通している。中国人学生のみ「たまに」の比率が 23.64% と他の群が一桁であるのに対して高い比率を示している。

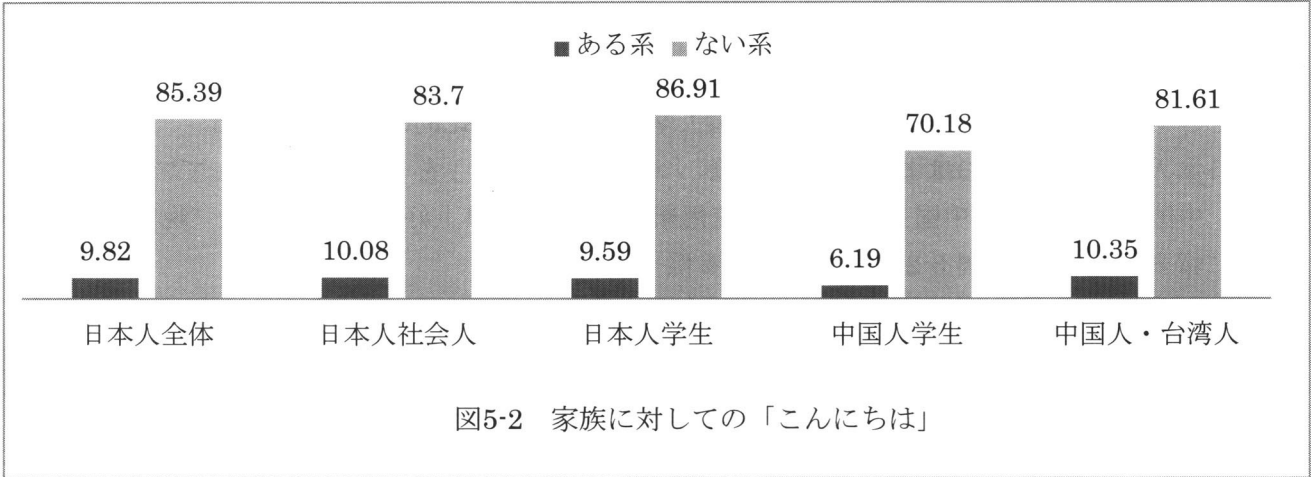


図 5-2 に示したように、家族に対しての「こんにちは」は、「あまりない」と「ぜんぜんない」を合わせた「ない系」がほぼ 8 割台であるが、中国人学生のみ 7 割台となっていて、日本人学生と 16.73 ポイントの差異がある。

中国人学生は、ほとんどが大学の学生寮で生活していて、しばらくぶりで帰省して家族と会う場合に冗談ぽく“你好”と挨拶することがあるという学生もいるが、「ある系」が 6.19% と上記 4 群の中で最低の比率となっている。この結果において、図 5-1 に示した中国人学生のみ「たまに」の比率が 23.64% と高い比率を示していることに関係するとも考えられる。

設問 5. あなたは、家族に対して「こんばんは」と夜間あいさつをすることがありますか？
 (您在家里对家人说不说像“晚上好”等夜晚的问候语?)

表9. 家族に対しての「こんばんは」

設問5	よくある	ときどき	ある系	たまに	あまり	ぜんぜん	ない系
日本人全体	6.23	2.72	8.95	4.63	23.96	62.46	86.42
日本人社会人	5.38	3.70	9.08	5.21	29.08	56.64	85.72
日本人学生	7.00	1.83	8.83	4.11	19.33	67.73	87.06
中国人学生	3.27	5.45	8.72	20.73	44.36	26.18	70.54
中国人・台湾人	5.75	3.45	9.2	8.05	36.78	46.00	82.78

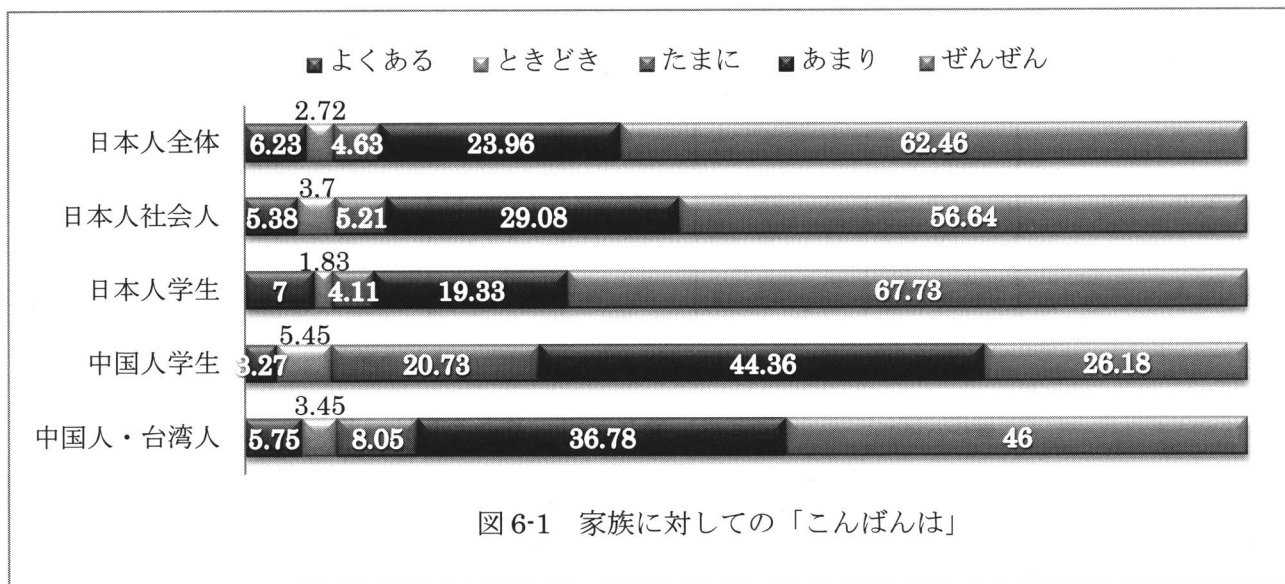


図6-1 家族に対しての「こんばんは」

図6-1に示したように家族に対しての「こんばんは」の使用頻度は、日本人社会人の「ぜんぜんない」が、56.64%で、日本人学生の67.73%と11.09ポイントの差異がある。中国人学生の「ぜんぜんない」が、26.18%で、日本に滞在している中国人・台湾人は、46%で、19.82ポイントの差異がある。当初、「ぜんぜんない」が、各群とも9割近くを占めると予想していたが、「あまりない」を加えても9割には届かなかった。(図6-2参照)

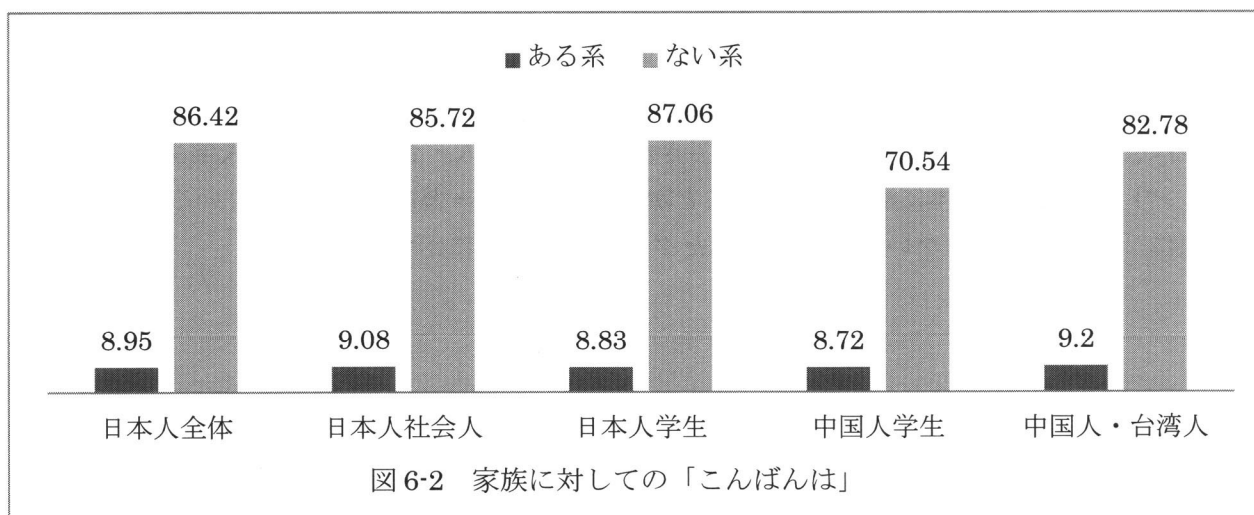


図6-2 家族に対しての「こんばんは」

図 5-2 と図 6-2 に示したように家族内の「こんにちは」「你好」「こんばんは」「晚上好」の使用頻度に関しては、日本人も中国人・台湾人も、一割弱しか用いていない点が共通している。

これ等の挨拶言葉は日本人にとっても、中国人・台湾人にとってもソト向きの挨拶で、家族内（ウチ）で用いると極めて他人行儀で不自然な挨拶となることがわかる。

設問 7. あなたは、学校や職場等で友人や知人に「おはよう」と朝のあいさつをすることがありますか？（在学校或单位，您对朋友或同事说不说像“早”、“早上好”等早晨的问候语？）

表 10. 学校や職場等で友人や知人に対する「おはよう」

設問 7	よくある	ときどき	ある系	たまに	あまり	ぜんぜん	ない系
日本人全体	84.42	10.38	94.8	3.51	0.88	0.80	1.68
日本人社会人	93.78	3.87	97.65	1.51	0.17	0.67	0.84
日本人学生	75.95	16.28	92.23	5.33	1.52	0.91	2.43
中国人学生	39.64	35.27	74.91	13.09	8.73	3.27	12.00
中国人・台湾人	67.82	24.14	91.96	5.75	1.15	1.15	2.30

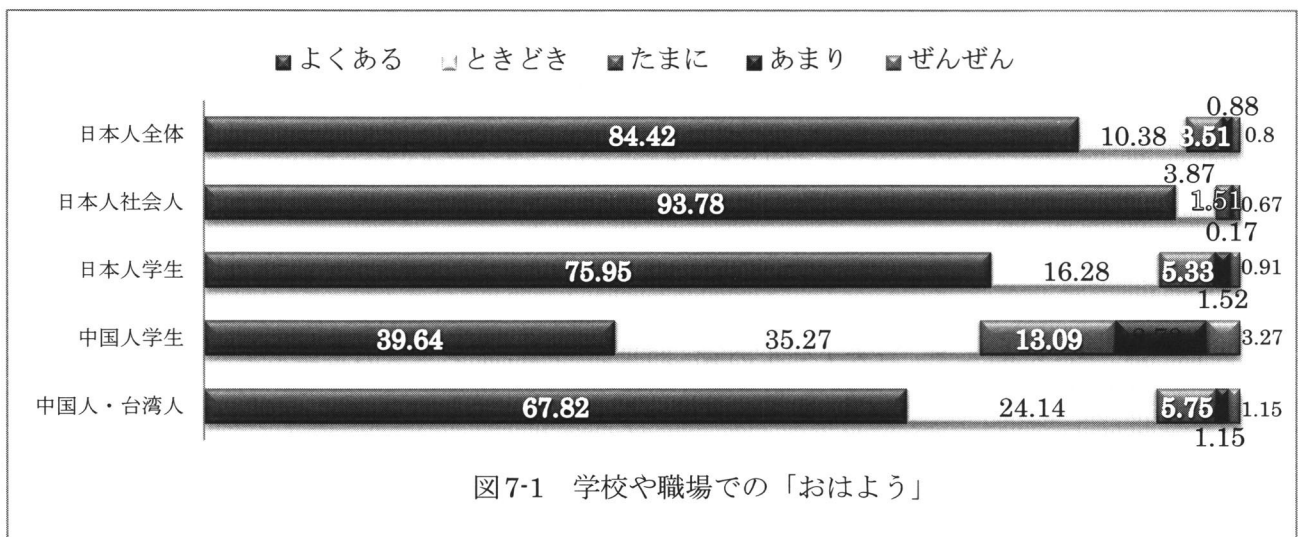


図 7-1 に示したように学校や職場で「おはよう」と朝のあいさつをする頻度に関しては、日本人の社会人と学生の間で「よくある」に 17.83 ポイントの差異がある。日本人学生と中国人学生の差は、36.31 ポイントとさらに大きな開きがある。中国人・台湾人と日本人学生との差は、8.13 ポイントと少なく、日本に滞在していることから日本の生活・習慣に影響されているとも考えられる。

次に「ある系」と「ない系」に二分したグラフを図 7-2 に示す。

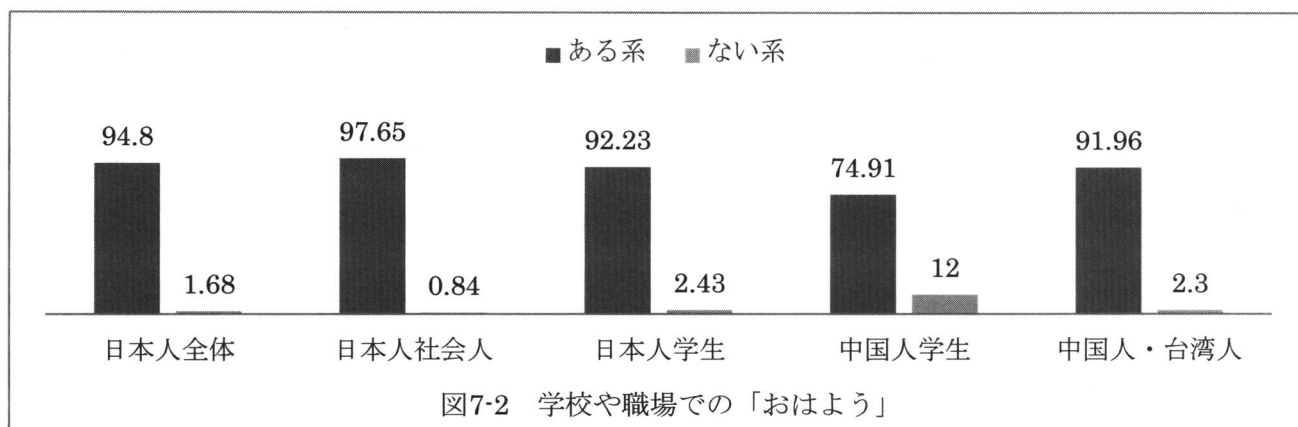


図7-2に示したように学校や職場での「おはよう」の使用頻度の「よくある」と「ときどき」を合計した「ある系」では、中国人学生が7割台であるほかは9割台となっている。

「おはよう」の使用頻度に関しては、日本人は家族内で8割、学校・職場で9割台であるのに対して、中国人学生の“早”“早上好”の使用頻度は家族内で2割台、学校・職場では7割台と大きな開きがある。その差異は約50ポイントで中国ではウチとソトを明確に分けて、朝の挨拶をしていることが分かる。日本にいる中国人・台湾人は、学校・職場で9割台の使用比率で日本人の比率に近い。

設問8. あなたは、学校や職場等で友人や知人に「おつかれ」と出会いのあいさつをすることがありますか？(在学校或单位,当您遇到朋友或同事时说不说像“辛苦了”等见面时的问候语?)

表11. 学校や職場での出会いの「おつかれ」

設問8	よくある	ときどき	ある系	たまに	あまり	ぜんぜん	ない系
日本人全体	73.48	11.5	84.98	6.23	5.11	3.67	8.78
日本人社会人	69.24	11.26	80.5	7.23	7.56	4.71	12.27
日本人学生	77.32	11.72	89.04	5.33	2.89	2.74	5.63
中国人学生	24.36	32.00	56.36	20.00	16.00	7.64	23.64
中国人・台湾人	41.38	22.99	64.37	16.09	8.05	11.49	19.54

日本人大学生から次のような声が寄せられた。

「『おつかれさま』という言葉は、自分は大学に入学してから出会いの挨拶として使うようになったので、大学から生まれて、そこから広がったのだと思う」(2年生・女性)。「出会いの『おつかれ』も別れの『おつかれ』も大学生になってから使うようになったと思う。中学、高校のときは、普通に『おはよう』で、別れは「またね」や「じゃあね」、先輩に「失礼します」だったと思う」(3年生・男性)。「『お疲れ様でした』を使用するようになったのは、大学に入ってからだと思いました。中学、高校までは同級生や先輩に対して『おはよう』や『こんにちは』というような挨拶をしていました」(4年生・男性)。「日本人の社会人が日本人学生同様に、出会いの挨拶として『おつかれ』が使われているとは思っていませんでした」(2年生・男性)。

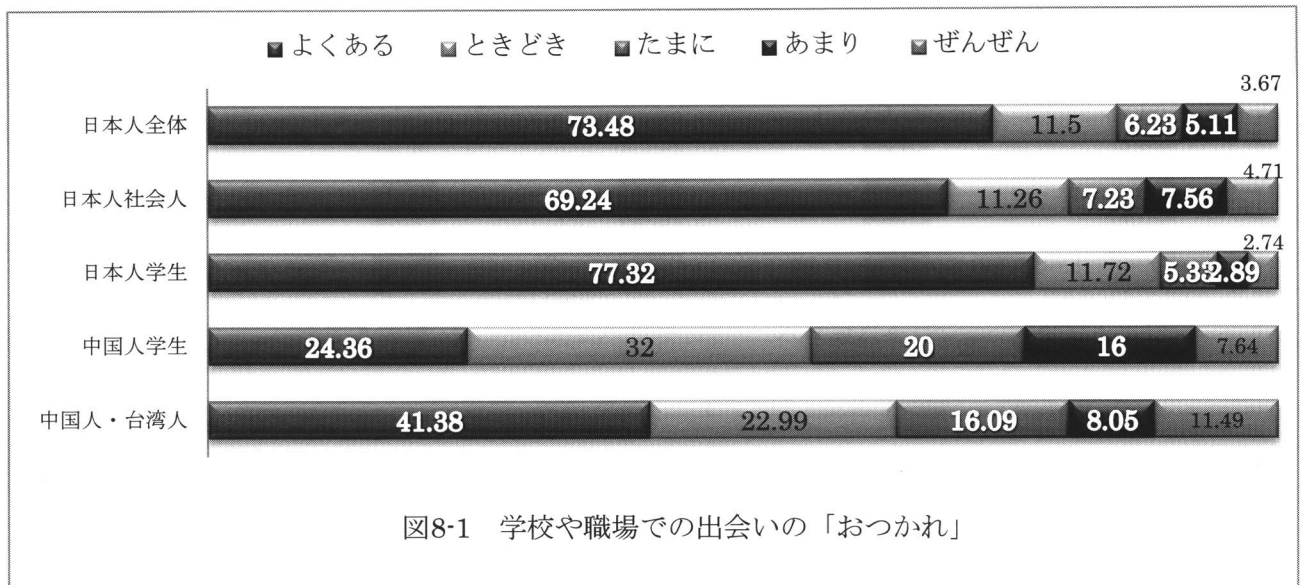


図8-1に示したように学校や職場での出会いの「おつかれ」においては、日本人の社会人と学生の間で「よくある」の使用頻度に8.08ポイントの差異がある。日本人大学生の場合、友人や知人に朝出会って挨拶するとは限らず、「おはよう」に変わって「おつかれ」が使われるようになってきたという傾向が読み取れる。朝の出会いであっても「おはよう」に変わって「おつかれ」が使われるのは、若者の間の流行かとも思われたが、約7割の社会人が出会いの「おつかれ」をよく使うという結果が出たことは予想外であった。

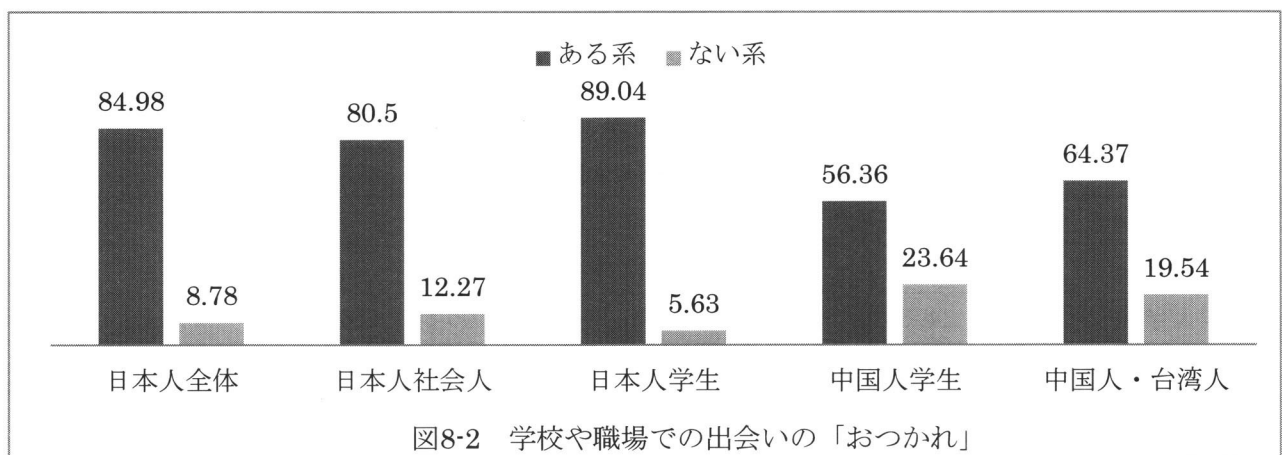


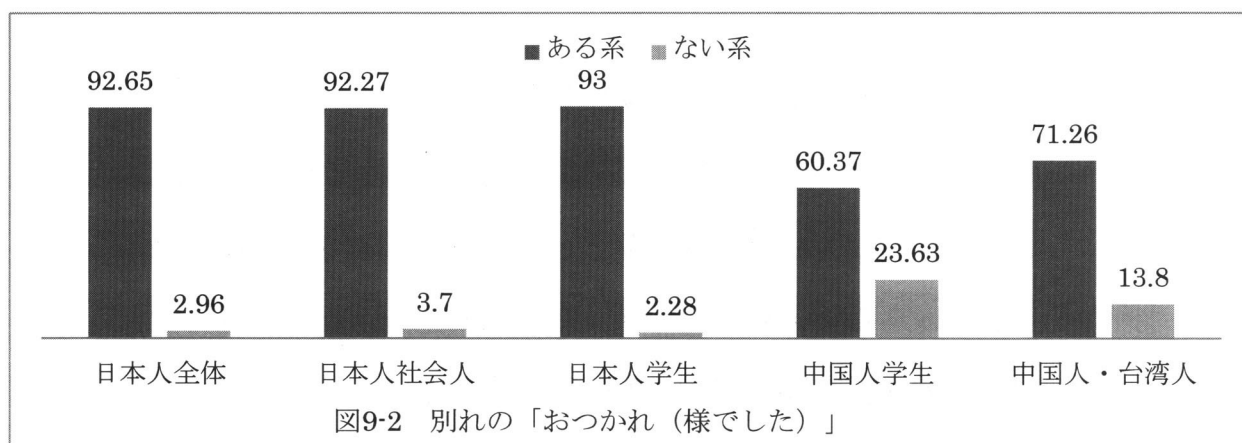
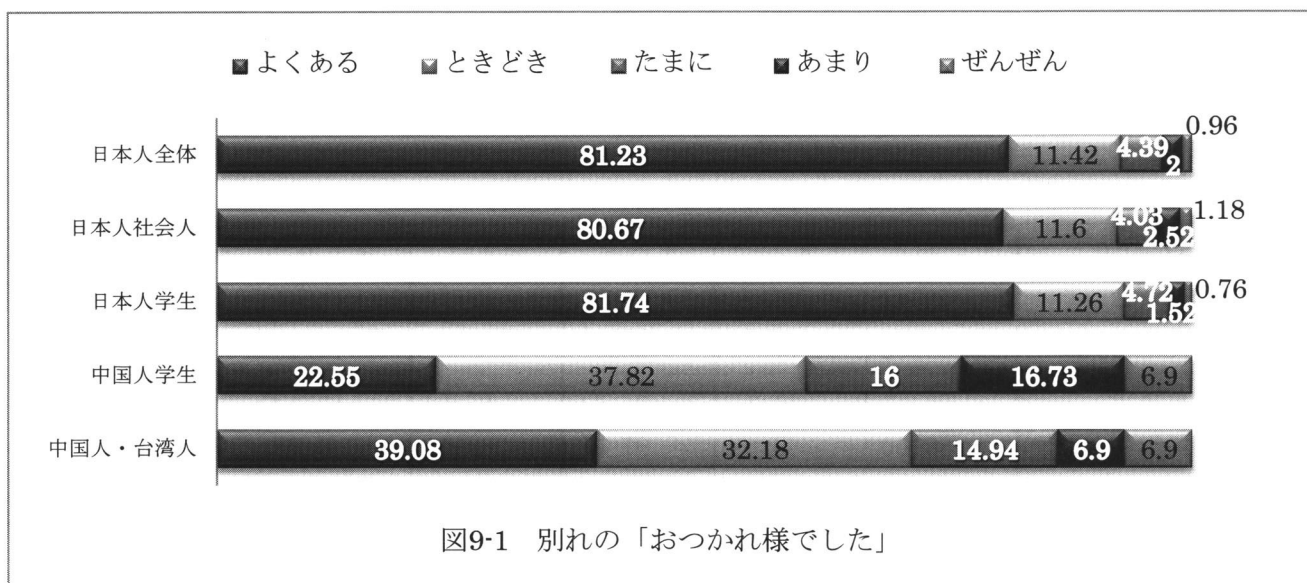
図8-2に示したように学校や職場での出会いの「おつかれ」の使用頻度に関しては、「よくある」と「ときどき」の合計が日本人の社会人、学生ともに8割台であったのに対して、中国人学生および中国人・台湾人の場合、6割前後となっていて大きな開きがある。

設問9. あなたは、学校や職場等で友人や知人に「おつかれ(様でした)」と別れを言うことがありますか？ (9. 在学校或单位, 当您与朋友或同事告别时说不说像“辛苦了”等告别时的问候语?)

表 12. 別れの「おつかれ(様でした)」

設問 9	よくある	ときどき	ある系	たまに	あまり	ぜんぜん	ない系
日本人全体	81.23	11.42	92.65	4.39	2.00	0.96	2.96
日本人社会人	80.67	11.60	92.27	4.03	2.52	1.18	3.70
日本人学生	81.74	11.26	93.00	4.72	1.52	0.76	2.28
中国人学生	22.55	37.82	60.37	16.00	16.73	6.90	23.63
中国人・台湾人	39.08	32.18	71.26	14.94	6.9	6.90	13.80

表 12 の別れの「おつかれ(様でした)」の結果をグラフにすると次の図 9-1 と 図9-2になる。



「おつかれ」「辛苦了」に関しては、出会いと別れの両場面で用いられている。しかし、日本人学生が9割程度用いているのに対して、中国人学生および中国人・台湾人の場合は6割から7割台の使用に留まっている。

「おつかれ(さま)」の意味は、三省堂 Web Dictionary では「仕事が終わった後のねぎらいの語」となっている。本調査では日本人が別れの挨拶、つまり「仕事が終わった後のねぎらいの語」と

して約 93%が使用しているが、出会いの挨拶としても約 85%が使用している。つまり「おつかれ」は、仕事後だけではなく、仕事前の仲間意識の確認や仕事後のねぎらいのために使われるようになり、以前より使用範囲が拡大してきていることがわかる。

つまり、日本語の「おつかれ（さま）」は、仕事が終わった後のねぎらいの語とされてきたが、近年、職場や学生のアルバイト先でも「さようなら」より「おつかれ（さま）」が多用されるようになってきていると言える。これは、日常的なコミュニケーション上の配慮表現を重視していることの表れと言えるであろう。

中国人学生にとっては、“辛苦了”は先生や上司からかけられるねぎらいの言葉という印象があり、待遇面での階位の関係があるため、相手を選んで用いることが多いことから 6 割台の使用に留まっていると考えられる。

設問 10. あなたは、学校や職場等で友人や知人に「さようなら」と別れのあいさつを言うことがありますか?(10. 在学校或单位, 当您与朋友或同事告别时说不说像“再见”等告别的问候语?)

表 13. 「さようなら」という別れのあいさつ

設問 10	よくある	ときどき	ある系	たまに	あまり	ぜんぜん	ない系
日本人全体	49.44	15.26	64.70	10.78	15.10	9.42	24.52
日本人社会人	54.62	11.43	66.05	8.57	15.13	10.25	25.38
日本人学生	44.75	18.72	63.47	12.79	15.10	8.68	23.78
中国人学生	88.00	9.09	97.09	1.45	0.73	0.73	1.46
中国人・台湾人	60.92	16.09	77.01	10.34	6.90	5.75	12.65

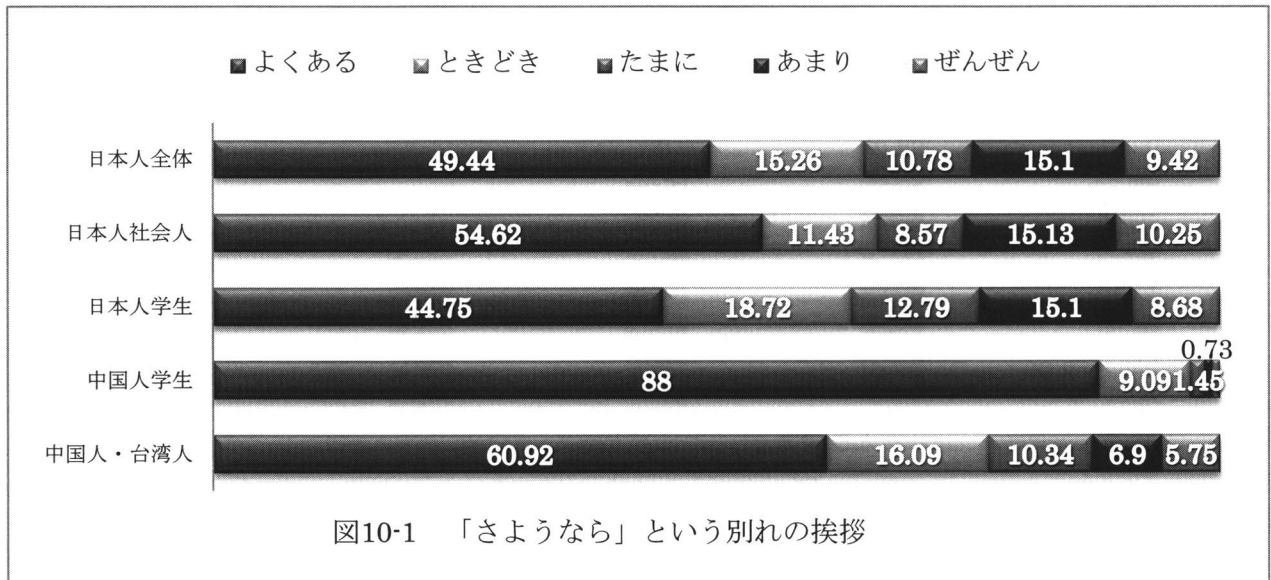


図 10-1 に示したように「さようなら」という別れの挨拶は、「よくある」が日本人の学生・社会人ともに 5 割前後であるが、中国人学生の「よくある」は 88%と極めて比率が高い。日本に滞在している中国人・台湾人も「よくある」が 6 割を占めている。中国人学生と日本在住の中国

人・台湾人の「さようなら」のよく使う割合の差が27ポイントもあるのは何故であろうか。日本に滞在していると日本人の側から「さようなら」と挨拶されることが少ないためその応答としての「さようなら」も少なくなるためであろう。

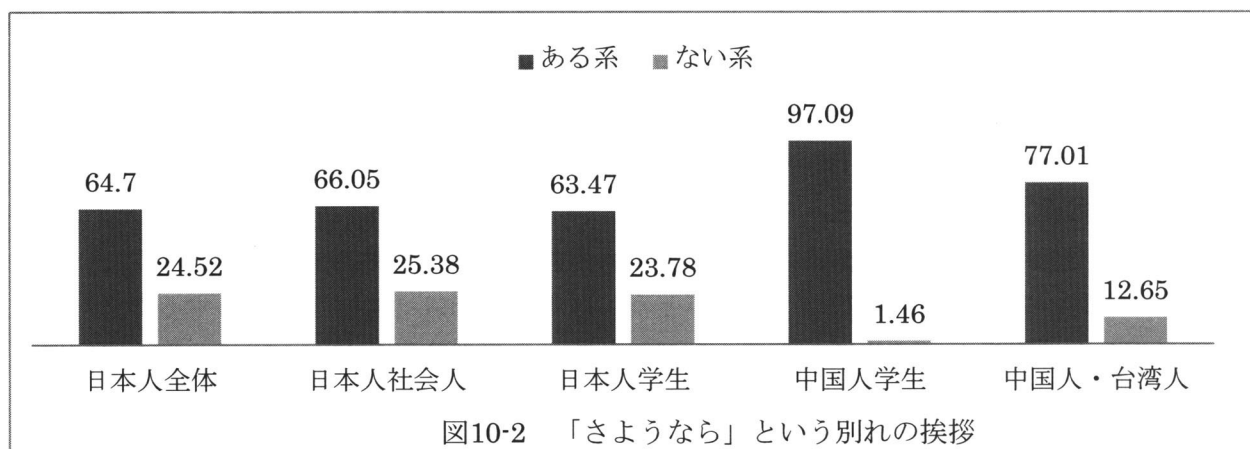


図10-2に示したように「さようなら」という別れの挨拶に関する使用頻度は、日本人全体の「ある系」が、64.7%であるのに対して、中国人学生は、97.09%と飛び抜けて高率となっている。日本に滞在している中国人・台湾人の使用頻度も77.01%と比率が高い。

質問紙には「再见」等と「等」が含まれていたことが、9割以上となった一因であろうが、そのほかの質問にも「等」が付いているため、どのような背景があるか考えてみる必要がある。日本に滞在している中国人・台湾人に対するインタビューでは、近年学生同士・友人同士の場合は、「再见」より「バイバイ」「拜拜」の方をよく使うとのことである。

日本人の「さようなら」が6割台に留まったのは、永遠の場合も含む長い別れのイメージが「さようなら」にあるからかもしれない。日本人学生へのインタビューでは、「二度と会わないような恋人との別れのような場面で使う」という声も聞かれた。「片寄斗史子のまた明日ね」というコラムが毎日新聞に掲載されているが、2015年11月8日は「さようならはきらい」が見出しになっていた。「さようなら」の代わりに、その場に合わせた「また明日ね」「じゃ、また」「じゃ、帰るね」「こちらへんで失礼します」「お先に(失礼します)」「お疲れ様でした」など様々なバリエーションが存在しているため、相対的に「さようなら」の使用頻度が低下してきていることが考えられる。日本の挨拶表現のなかで、「さようなら」は公式化、定式化した日常習慣的使用からやや外れる傾向にあるように見受けられる。

5.まとめと考察

以上の質問紙調査結果から、感謝表現、陳謝表現、挨拶表現の差異が明らかになった。

まず、日本と中国・台湾を対比すると、顕著な差異が見られたのは家庭内での感謝表現、陳謝表現、朝の挨拶、寝る前の挨拶の使用頻度である。日本人はこれらの表現を家庭内でよく使うが、中国人は日本人よりも使用頻度が低い。

一方、学校・職場では、日本、中国・台湾ともこれらの表現の使用頻度は高い。つまり日本人は家庭(ウチ)でも学校・職場(ソト)でも感謝、陳謝、挨拶表現をよく使うが、中国人は家庭(ウチ)よりも学校・職場(ソト)で使う頻度が高い。特に感謝、陳謝表現の使用に関しては、ウチ・ソト

の区別が顕著である。

日本において、特に学校教育の場では「挨拶運動」が定着している。例えば、山口市内の中学校でも特色の一つに「明るいあいさつがとびかう学校」を挙げ、挨拶できる生徒が学校の品位を高めるとされている。また、学校からの生活調査にも学習時間等のほかに、家庭内で挨拶をするかどうかという項目も見受けられる。このように日本の親、子どもは、家庭内でも学校でも挨拶をすることが教科学習と同等に重要であると教えられている。このような状況から考えると、日本人が公的(ソト)にも私的(ウチ)にも挨拶をする習慣を身につけていると言えよう。

李(2014:46)は、中国語では、ウチとソトの境界がはっきりしており、家族内、親しい関係の間で「他人行儀」の言語行動をとらないと述べている。また、感謝の場面では小さいことについて、一般の関係ではあまり感謝はしない、特に家族内において感謝の言語行動を行うことはさらに少ないと述べている。日本語の「ありがとう」は中国語では“谢谢”に相当するのであるが、言葉の重みと使用場面には差異があることが分かる。本調査結果からも中国語のウチ(家族内)とソト(学校・職場)の境界がはっきりしていることが分かった。

曲(2009a:98)は、日本人の挨拶表現が場面ごとに、その時、その場面にもっとも適合すると思われる定型表現があることが特徴で、それに対して中国人の日常的な挨拶表現は、その時その場の具体的な状況や様子を詳細に挨拶に取り入れて表現する特徴があると述べている。

設問1の「ありがとう」「谢谢」の使用頻度を見ると、日本人は「よくある」と回答した人が最も多いが、中国人は「たまに」と回答した人が最も多い。その他の項目においても中間値の「たまに」の選択が多かった。つまり中国人は定型表現を「たまに」使ってはいるが、一方で定型表現を使わずに、曲(2009a:98)が述べる「具体的な状況や様子」を挨拶に取り入れているということであろう。たまに決まりきった簡略化された定型表現を使うが、一方では「具体的な状況や様子」を感謝・陳謝・挨拶表現として使っていると考えられる。

ホール(1979)によると、中国と日本は、共に高コンテクスト文化圏に位置し、人間関係や社会習慣など、コンテクスト(文脈)に依存する傾向が強いとされている。しかし、本調査結果からは、家庭内の陳謝・感謝・「おはよう」「おやすみなさい」などの挨拶のコミュニケーションにおいては、日本の方が中国より言語化していて、低コンテクスト化しているように思われる。日本に比べて、多民族国家である中国の方が、言語に依存する低コンテクスト社会であると考えられがちであるが、家庭内の陳謝・感謝・挨拶表現においては、高コンテクストであるとの見方もできるであろう。

6. 今後の課題

山岡ら(2010)は、「現代日本語研究において、配慮表現ほど未開拓の研究テーマがどっさり埋もれた分野は他になく、随一であると言っても過言ではない」と指摘している。本稿で扱った感謝・陳謝・挨拶表現に関しても、日常生活を維持していく上で必要なコミュニケーション上での配慮表現という枠組みで捉え直し、検討していくことが今後の課題となる。

本調査報告では、紙幅の都合もあって、男女差の検討まで至らなかったが、総計1614名の広範囲の調査であったため、機会を改めて男女差の集計を行ない、分析を試みたい。

本研究のテーマは、社会言語学の分野に属するため年齢差・年代差についても検討すべきところであるが、中国での社会人を対象とする調査が困難であったため十分な調査回答が得られず、日本人の中での社会人と学生の比較に留まった。中国での社会人を対象とする調査が今後の課題

となる。

また、日本の家庭では、感謝・陳謝・挨拶表現がよく用いられていても、子どもの自殺などが後を絶たない。元気に朝の挨拶をして登校したのに、学校ではいじめられていた。いじめを苦に子どもが自殺しても、親も担任教師も知らずにいたなどという事例が数多く報道されている。感謝・陳謝・挨拶などの配慮表現は、実質のコミュニケーションのための前提であるはずなのに、挨拶することが自己目的化されてしまっていて、実質のコミュニケーションにまで至っておらず表面的な形式に留まっているという現実があると思われる。その点、中国の言語文化を背景とした状況に合わせた対応を挨拶とする文化から学ぶべき点も多いのではないかと思われる。

<注1>山口大学を中心に日本人大学生に対する調査を行ったため、山口県や近県出身者が多いが、出身地の内訳は以下の通り全国各地に分散している。

山口 176・広島 108・福岡 88・長崎 42・岡山 24・兵庫 23・愛媛 21・大分 18・宮崎 15、島根 15・佐賀 13・熊本 12・鹿児島 10・鳥取 9・大阪、和歌山、愛知、北海道(各 7)・香川、高知、京都(各 6)・徳島、東京(各 5)・滋賀 4・静岡、長野、千葉(各 3)・沖縄、三重、富山、岐阜、神奈川、埼玉(各 2)・石川、茨城(各 1)

<注2>中国の三大学の 275 名においても所在地周辺だけでなく、中国の各地に分散している。

湖北 55・広東 47・福建 26・河南 19・山東 16・浙江 13・河北 12・湖南 11・広西 7・四川 6・内モンゴ 6・雲南 6・吉林 5・陝西 5・江西 5・遼寧 4・江蘇 4・貴州 4・重慶 3・上海 3・安徽 2・甘肅 2・山西 2・新疆 2・黒竜江 3・天津・海南・西藏(各 1)

謝辞：本質問紙調査にご協力いただいた中国の広東培正学院の境智美先生、厦門大学の曲志強先生、王絹先生、論文の校閲をしていただいた二宮喜代子先生、吹屋葉子先生に感謝の意を表したい。

【参考文献】

- 曲志強・林伸一(1999)「日本語と中国語のあいさつ表現の比較」全国語学教育学会山口支部発行『山口支部研究紀要』第 5 号、pp. 24-38
- 曲志強(2009a)「日本語と中国語のあいさつ表現について-大人と子どもの間の談話分析-」山口大学人文学部国語国文学会発行『山口国文』第 32 号、pp. 85-97.
- 曲志強(2009b)「日本語と中国語のあいさつ表現について-日本人と中国人の日常あいさつに関する意識調査及び実態調査-」日本比較文化学会発行『比較文化研究』No. 86、pp. 175-187
- 三省堂 Web Dictionary<<http://www.sanseido.net/>> (2015 年 10 月 28 日)
- 速司正成 (2004)「あいさつ表現としての『おはよう』」全国語学教育学会・日本教育カウンセラー協会発行『山口支部研究紀要』第 9 号、pp. 135-149
- ホール, E.T. 著・岩田慶治・谷泰訳 (1979)『文化を超えて』TBS ブリタニカ、pp. 102-132
- 村山孚 (1995)『中国人のものさし日本人のものさし』草思社、pp. 84-91
- 山岡政紀・牧原功・小野正樹(2010)『コミュニケーションと配慮表現』明治書院
- 山岡政紀・李奇楠(2007)「謝罪表現の日中対照研究」『村木新次郎教授還暦記念論集 日本語と中国語と その体系と運用』趙華敏他編、学苑出版社、pp. 224-236
- 李 華勇 (2014)「日本語と中国語における『感謝の言語行動』の対照研究」大阪大学博士論文<http://ir.library.osaka-u.ac.jp/dspace/bitstream/11094/50573/2/27124_論文.pdf>

言語・文化に関するアンケート

次の各質問の答えに○印をつけてお答えください。

1. あなたは、家庭内で「ありがとう」というような感謝の言葉を言うことがありますか？
a. よくある b. ときどきある c. たまにある d. あまりない e. ぜんぜんない

2. あなたは、家族に対して「ごめん」「ごめんなさい」「すまん」「すみません」というような陳謝の言葉を言うことがありますか？
a. よくある b. ときどきある c. たまにある d. あまりない e. ぜんぜんない

3. あなたは、家族に対して「おはよう（ございます）」と朝のあいさつをすることがありますか？
a. よくある b. ときどきある c. たまにある d. あまりない e. ぜんぜんない

4. あなたは、家族に対して「こんにちは」と昼間あいさつをすることがありますか？
a. よくある b. ときどきある c. たまにある d. あまりない e. ぜんぜんない

5. あなたは、家族に対して「こんばんは」と夜間あいさつをすることがありますか？
a. よくある b. ときどきある c. たまにある d. あまりない e. ぜんぜんない

6. あなたは、家族に対して「おやすみなさい」と寝る前にあいさつをすることがありますか？
a. よくある b. ときどきある c. たまにある d. あまりない e. ぜんぜんない

7. あなたは、学校や職場等で友人や知人に「おはよう」と朝のあいさつをすることがありますか？
a. よくある b. ときどきある c. たまにある d. あまりない e. ぜんぜんない

8. あなたは、学校や職場等で友人や知人に「おつかれ」と出会いのあいさつをすることがありますか？
a. よくある b. ときどきある c. たまにある d. あまりない e. ぜんぜんない

9. あなたは、学校や職場等で友人や知人に「おつかれ（様でした）」と別れを言うことがありますか？
a. よくある b. ときどきある c. たまにある d. あまりない e. ぜんぜんない

10. あなたは、学校や職場等で友人や知人に「さようなら」と別れのあいさつを言うことがありますか？
a. よくある b. ときどきある c. たまにある d. あまりない e. ぜんぜんない

国籍（ ） 出身地（ ） 都道府県／省 性別（男・女）

年齢（10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代以上） 職業（学生・社会人）

以上、ご協力ありがとうございました。

別添資料 2

关于语言文化的问卷调查

请在下面的问卷中选择一个答案并画圈 (○)

1. 您在家里对家人说不说像“谢谢”等表示感谢的语言?
a. 经常说 b. 有时说 c. 很少说 d. 几乎不说 e. 完全不说
2. 您在家里对家人说不说像“对不起”、“不好意思”、“抱歉”、“真对不起”等表示道歉的语言?
a. 经常说 b. 有时说 c. 很少说 d. 几乎不说 e. 完全不说
3. 您在家里对家人说不说像“早”、“早上好”等早晨的问候语?
a. 经常说 b. 有时说 c. 很少说 d. 几乎不说 e. 完全不说
4. 您在家里对家人说不说像“你好”等白天的问候语?
a. 经常说 b. 有时说 c. 很少说 d. 几乎不说 e. 完全不说
5. 您在接力对家人说不说像“晚上好”等夜晚的问候语?
a. 经常说 b. 有时说 c. 很少说 d. 几乎不说 e. 完全不说
6. 您在家里对家人说不说像“晚安”等就寝前的问候语?
a. 经常说 b. 有时说 c. 很少说 d. 几乎不说 e. 完全不说
7. 在学校或单位, 您对朋友或同事说不说像“早”、“早上好”等早晨的问候语?
a. 经常说 b. 有时说 c. 很少说 d. 几乎不说 e. 完全不说
8. 在学校或单位, 当您遇到朋友或同事时说不说像“辛苦了”等见面时的问候语?
a. 经常说 b. 有时说 c. 很少说 d. 几乎不说 e. 完全不说
9. 在学校或单位, 当您与朋友或同事告别时说不说像“辛苦了”等告别时的问候语?
a. 经常说 b. 有时说 c. 很少说 d. 几乎不说 e. 完全不说
10. 在学校或单位, 当您与朋友或同事告别时说不说像“再见”等告别时的问候语?
a) 经常说 b. 有时说 c. 很少说 d. 几乎不说 e. 完全不说

国籍 () 出生地 (省/市/自治区) 职业 (学生 · 职工)
性别 (男 · 女) 年龄 (20、30、40、50、60、70 年代)